



自民党・無所属 大阪府議団だより

釜中優次議員 が府議会で一般質問



堺市西区
選出

プロフィール

浜寺石津小、浜寺中、大商大附属堺高卒。大阪府議会議員2期。現在、自民党堺市西区支部支部長。自民党大阪府支部連合会組織委員長。自民党大阪衆議院第17区支部幹事長。

<http://kamanaka.sakura.ne.jp/>

釜中優次議員は12月14日(2016年)、府議会の本会議で一般質問に立ち、内外に向けた大阪のプロモーションへの取り組みや民泊の対策について見解を求めました。また、泉北ニュータウンの再生などを質問しました。

内外に向けた大阪のプロモーションについて

中小企業の販路開拓が課題… 海外プロモーションへの取り組みは？

Q. 釜中議員 大阪には幅広い分野で高い技術力を持った中小企業が集積しており、今後、成長を続ける為にはいかにして海外市場に打って出るか、販路開拓が重要な課題だ。府は海外展開の先鞭をつけるプロモーションを実施しているが、大阪の多様な魅力(「食」「歴史」「文化」等)をパッケージで発信することが効果的と考える。現状はどうか。

A. 商工労働部長 海外への販路開拓で企業が成長できるようトッププロモーション等、様々な海外展開支援事業を行っています。訪問した都市では政府機関等へ働きかけて大阪企業の商談を後押しするだけでなく、大阪独自の魅力も含めたプレゼンテーションで知名度向上にも寄与するなど、他部局等とも連携し進めています。

大阪産の魅力発信

Q. 釜中議員 大阪産をはじめ、大阪の「食」の魅力を海外に発信していく取り組みについて環境農林水産部長に問う。

A. 環境農林水産部長 JETRO(日本貿易振興機構)や大阪観光局等との連携により大阪産の海外展開やインバウンド対応を推進しており、今年度は香港フードエキスポへの出展や上海で活躍するシェフ等を大阪に招いてツアーを実施。4月には第9回食博覧会が開催されるなど、様々な機会国内内外に大阪の「食」の魅力を発信し、大阪ブランドの向上に努めていきます。

民泊について 外国人滞在施設経営事業

特区民泊の改正により、 増える需要への対応を問う

Q. 釜中議員 特区民泊の最低滞在日数が6泊7日から2泊3日に改正されたことにより、今後、特区民泊の需要も増加していくと思われるが、懸念される宿泊者の騒音やゴミ出し等のトラブルによる近隣住民への影響についてどのような対応を考えているのか。

A. 健康医療部長 改正では施設の周辺住民に対する説明、近隣住民からの苦情等にも迅速に対応するよう規定されており、府ではこうした対応について事業者には義務づけ、トラブルの防止に努め、認定施設に対しては定期的な立ち入り調査等を実施してまいります。

違法民泊への対策は？

Q. 釜中議員 違法民泊事業者に対する府のこれまでの対応、今後の対策はどうか。

A. 健康医療部長 民泊施設(大阪府所管区域)については述べ300件程度を確認しており、うち164件は場所が特定でき、既に許可取得が49件、営業をやめさせた施設が41件。残りは調査・指導中です。指導に従わない悪質な業者には警察とも連携をはかり、法に基づき対処していきます。

魅力ある
泉北ニュー
タウンへ!

公的賃貸住宅再生 計画の改定について

Q. 釜中議員 人口減少等に対応する為、街に機能を持たせて、若者が惹きつけられ、子育てしやすく高齢者も健康で長生きできるような魅力あるニュータウンに変えていかなければならない。再生に向け、公的住宅資産の活用を明確に位置づけ、その取り組みを推進すべきと考えるが、どうか。

A. 住宅まちづくり部長 新たな公的賃貸住宅再生計画では、公的住宅の建替え等により今後5年間で生み出される約10haの用地などの公的住宅資産を活用した「若年・子育て世代のニーズにあった魅力的な住宅の供給」などを盛り込み、今年度内に策定します。具現化に向け、公民連携で全国モデルとなるような泉北ニュータウン再生に取り組みます。

少子化
対策

不妊治療費 助成への質問

Q. 釜中議員 平成28年の制度改革で「特定不妊治療助成」の「初回の助成限度額が15万円から30万円」等に拡充されたが、不妊に悩むご夫婦が一組でも多く本制度を利用してもらうことが重要である。新制度適用の取り組み状況はどうか。

A. 健康医療部長 新制度について、指定医療機関を通じて「利用の手引き(申請案内)」の配布や府ホームページなどで周知を徹底しています。